

議員定数26名 2名削減

12月議会

12月議会が12月1日より14日まで開会されました。本議会には18議案と補正予算1億9104万円計上されました。4月より各種利用料、手数料が値上げされた影響で2632万の増収となりました。支出については生活援助等の扶助費が9000万余、介護保険へ3750万、又、三郷中央駅前バス発着場の整備費用等が計上されました。財政難は、議会のあり方も問われる処です。お隣の吉川市では、議員定数26名を6名削減しています。三郷市として現下の状況を考えれば当然削減すべしとっていました。行政サービスの低下、職員の減給の中で、議会だけが別と言う議論は説得力がなく、本議会に於いて定数削減条例を提出し、共産、民主を除く全ての会派の賛成の下、2名削減する事に決定しました。個人的には、2名ではなく、2名以上削減し、報酬も削減すべきと発言して来ましたが難しく、賛成会派での話し合いの中で、2名削減で合意出来たと言う事で賛成しました。本年度7月の市議会選挙は26の議席を巡る選挙と成ります。



新年あけましておめでとございませう。後援会の皆様におかれましては健康やかに新春をお迎えのことお慶び申し上げます。今年、六月には、大型ショッピングセンターの開店、秋には、つくばエクスプレスの開通と、三郷市の将来を占う事業がスタートします。この開発と三郷市の発展にどう導くか、行政としての課題であり、議会としても何処にも負けない街作りを提案して行かなければと思っております。又、今年、選挙の年です。四年間の議員としての真価を問われる年でもあります。私の市政に対する考えにご理解を頂き引き続き支援を頂きます様よろしくお願い致します。

ご家族皆様の幸せをお祈り申し上げ、挨拶と致します。

9月議会で瑞沼小学校の廃校が、本議会で瑞沼小、さつき小学

瑞沼、さつき小の新校名は「瑞木小学校」

決定しました校統合の新校

名は「瑞木小学校」に決定しました。新校名に伴う費用については、概算で300万円位と言う事ですが、少しでも経費を抑え、その分、教育現場の充実へかけられたらと思います。少子化は、保育所についても避けられず、三郷団地内にある「さつき保育所」は、18年4月1日の閉園が決定

さつき保育所閉園へ「18年4月1日」

しました。市立保育所は14ヶ所あり、その内三郷団地

内に4ヶ所あります、そのうち一ヶ所閉園するものです。現在、さつき保育所の入所率は56%と言う事です。魅力ある街作りを進め、人口減少に歯止めをかけなければ高齢化率が上がり、ひいては、町の力がなくなってしまうのではと思います。都心回帰の中で、いかに三郷市に住んでもらうか、議会に問われて



閉園が決まった「さつき保育園」

農業委員公選定数削減 20名から15名へ

農業委員会の定数

についても削減が決定しました。三郷中央地区、インターA地区約200haの開発があり急激に農地が減少しています。この様な状況下で農業委員の皆さんが自主的に削減提案をしました。20名の公選委員を15名にすると言う事です。それと学識経験、いわゆる議会推薦を1名削減し3名とした事です。地域の意見を十分に聞き、検討委員会を設け議論を重ねた結果と言う事です。削減数から言え

ば、議会の2名と言うのは考えなければと言う思いです。

1. 構造改革特区申請をなぜ三郷市はしないのか。草加市では69件も申請しているが。

草加市では小学校の天井高について申請し、その事により 6000 万円の節約が出来る。文科省では特区ではなく平成 17 年度に基準を見直すという事で、三郷市としても無関心な問題ではないと考えている。永田町の論理で物事を進めようとしている事を時より感じているので、

議員提案の特区担当を置き特区申請をして改革をする事を早急に、検討して行きたいと考えている。



草加市ではコンビニで納税一特区で実現

2. 市民活動を援助する施策、NPOを育成する施策は、

市民活動を推進し市民と協働の街作りをしようと考えている。市民団体と行政の橋渡しとなる様な、中間支援組織が現在注目されている。ここ数年、市民活動センターや NPO センターなどの中間支援組織が誕生しているのでそれらの組織と連携し情報の提供が出来るよう体制を確立して行きたい。



外環道の景観は市民が作る

補助金は明確な規定と条例の整備を一市民ニーズの変化により、時代の要請に答える事が困難になってきているのではと思う。白紙に戻し、真に必要な性のある団体を選択し育成しようと考えたが、補助団体が 146 団体に及び、補助金削減と言う一方的なやり方は好ましくないと考えている。活動状況を考えながら対応をしてゆく。

3. 大災害時の要介護者対策について、周辺町会との関係は。

一般の災害時のショートステイ等について考えて行きたい。大きな災害については、市町村、広域の場、県レベルの会議の場で支援体制について要望して行きたい。又、災害時には地域の力が必要となるので、地域との連携を図れるよう努力して行く。周辺町会、ボランティアとの関係については評価している。今後とも支援して行きたいと考える。

4. 江戸川運動公園の利用者は43万人もいる。なぜトイレを設置しないのか。国交省、国会議員に強く要請すべきではないか。



松戸市にあるトイレ

仮説トイレを 11 基設置している。松戸市のトイレは国土交通省が設置し管理は松戸市が、流山市の施設は平成 14 年に千葉県地域整備センターにより設置され管理は流山市が行っている。埼玉県と協議し、江戸川河川事務所にアプローチやトイレ休憩施設を要望してきたが、設置計画がないと言う事です。**議員お説の様に国会議員もいるので、私の方から是非要請をして行きたい。**

雑感

「特区担当を置く」市長答弁

改革を進める小泉内閣の地方版とも言える、構造改革特区に対して「三郷市として申請してはどうか」と言う質問に対して、とても前向きな発言がありました。草加市は第 1 次から 11 月の第 6 次まで申請しています。コンビニでの納税が出来るようにした事も申請した結果と言う事です。特区申請は、国に対して地方から自由にさせて欲しいと言う要望であり、申請する事により職員の意識改革とやる気を引き出す効果も期待出来るのです。職員の中には早々に「申請したい案件がある」と言っていました。答弁に期待したいと思います。草加で聞いた話「自らの殻を破らなければ行政の殻も破れない」と「今までと違う発想が出来た」と「様々な提案する事により、様々な方法が考えられる様に成った」とも。民間では当たり前です。三郷市もやっと普通に成れそうです。皆さんも注視して下さい。

行政視察

* 個人で視察 *

- ・ 江戸川のトイレについて松戸市、流山市訪問 (2004.10.4)
- ・ 開発指導要綱について訪問吉川市 (2004.11.30)

* 公務視察 *

- ・ 第 66 回全国都市問題会議参加 名古屋 (2004.10.27-29)